

## 写真で見る 大宮神社への参道



7 大宮神社 境内



5 旭消防署前交差点から北を臨む



6 大宮神社



3 高殿小学校付近を臨む



4 西大宮橋



1 京街道 道標



2 京街道と七曲がり交差付近

さて、写真で見る現在の大宮道である。

①京街道、七曲がりから②一の鳥居、③右に高殿小学校、左に旭高校の道を北へ、④西大宮橋を渡り⑤旭消防署の横に出る。

信号を渡り、⑥北へまっすぐのびる道が参道である。⑦その先に大宮神社の大樹がそびえている。

⑧その一つが大宮神社の「モチの木」



である。

モチの大樹に立札があり、「いぼ大神の由緒」が書かれている。

『昔から里人達がこのモチの老木を、いぼ神様と崇め奉り、木肌と自身の肌とを交互に撫でて疣はもとより、吹出物や内臓の病も疣にことよせて祈願をすれば、靈験顕たか必ず治ると言い伝えられ厚く信仰されてきました』



8 大宮神社

モチの木は今も大切にされている

# 大宮神社

後鳥羽天皇の文治元年(1185)に創建された古社で、祭神は応神天皇・神功皇后・姫大神・大国主神・事代主神・鬼門守護大神ほか。本殿、拝殿、遙拝所、絵馬堂などを整えた立派な神社で、古地図によると現在の神域よりはるかに広く、一の鳥居は大宮1丁目(現在高殿4丁目)あたりにあった。

ここは、京街道の「七曲がり」と呼ばれるところで、豊臣秀吉が大坂城築城にあたって京都へと通じる京街道を整備する際、大坂城の防衛線の一部としてこの付近を重視し、敵兵の数や様子を察知し、その進軍を少

しでも遅らせるために、わざと街道を蛇行させたといわれている。

源義経が平家追討のため、この地を通りかかったところ靈光があつてここに神祠を建てた。以来、戦国武将の尊崇を集め、とくに豊臣秀吉は大坂城築城の際、この地が鬼門に当たることから同神社を鬼門守護神として神殿や末社を再建し、祈願所とした。明治5年(1872)、村社になり八幡大神宮と改称、さらに同40年(1907)には古市神社となったが、同45年(1912)に大宮神社と改められて現在に至る。



写真■境内にある橋

橋の親柱には、江戸時代の年号と干支「弘化三丙午三月吉日」(\*)が記されている。\*弘化3年(1846)



写真■神社鳥居

鳥居には、江戸時代の年号と干支「寛保二壬戌年三月吉日」(\*)が記されている。\*寛保2年(1742年)

